



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月8日

上場会社名 株式会社ヨシックス 上場取引所 東・名
 コード番号 3221 URL http://www.yossix.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉岡 昌成
 (役職名)取締役 管理本部本部長 (氏名)大崎 篤彦 (TEL)052(932)8431
 問合せ先責任者 兼 経営企画室室長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,126	22.6	839	48.5	973	41.5	573	35.8
27年3月期第3四半期	6,627	—	565	—	687	—	421	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	112.54	111.09
27年3月期第3四半期	93.50	89.62

(注)1 当社は、平成26年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表の作成をしていないため、平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2 当社は、平成26年5月13日付で普通株式1株につき普通株式2.5株の割合で株式分割を行っております。また、平成27年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	6,075	3,407	56.1	665.84
27年3月期	5,042	2,893	57.4	570.79

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,407百万円 27年3月期 2,893百万円

(注)1 当社は、平成26年5月13日付で普通株式1株につき普通株式2.5株の割合で株式分割を行っております。また、平成27年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—		
28年3月期(予想)				2.50	—

(注)1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、平成27年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、平成28年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成28年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金につきましては、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の期末配当金は10円00銭となります。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	20.0	1,043	40.2	1,237	31.7	700	35.3	68.72

(注)1 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、平成27年12月3日開催の取締役会の決議により、平成28年1月1日付で普通株式1株を普通株式2株に株式分割いたしました。なお、当事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	5,118,300株	27年3月期	5,070,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	38株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	5,092,773株	27年3月期3Q	4,513,090株

(注) 1 当社は、平成26年5月13日付で普通株式1株につき普通株式2.5株の割合で株式分割を行っております。また、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式総数を算定しております。

2 当社は、平成27年12月3日開催の取締役会の決議により、平成28年1月1日付で普通株式1株を普通株式2株に株式分割いたしました。これにより発行済株式総数は5,118,300株増加し10,236,600株となっております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融政策や政府による経済対策の効果もあり、それらによる期待感から円安及び株高が進行するとともに、景気の回復期待が高まることで、企業収益及び雇用情勢の改善が見受けられる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇や個人消費低迷への懸念、中国経済の失速懸念に伴う不透明感の強まりや原油価格の下落による海外経済の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、円安による原材料価格の高騰や人材需給の逼迫に伴う人件費の増加、更には消費者の節約志向の高まりや業界内の顧客獲得競争が激化の一途を辿っている等、経営環境は引続き厳しい状況にありました。

このような環境のもと、当社の当第3四半期累計期間の売上高は、8,126百万円となりました。当社の主力業態は「や台や」業態、「や台ずし」業態及び「ニパチ」業態であり、その中でも「や台ずし」業態を中心に新規出店に努めてまいりました。

「や台ずし」業態は新規出店22店舗を実施し、店舗数が114店舗（フランチャイズ含む）となり、総店舗数の58.5%を占めております。新鮮な魚介類をお値打ち感の高いメニューで提供することにより、当業態の売上高は4,972百万円（前年同期比35.9%増）となりました。「や台ずし」業態は全国的に業績が好調に推移しております。当業態は本格職人にぎりの新鮮な魚介類を用いたすしを低価格で食すことができ、且つ居酒屋メニューも合わせて食すことができるという”寿司屋が居酒屋メニューを提供する”業態であります。良い商材を使い、お値打ち感の高い商品の提供を徹底することで、お客様からのご支持を頂いたものと考えております。そのため新規出店店舗の他、既存店売上高も前期対比で上回り、好調に推移いたしました。

また「ニパチ」業態は低価格均一価格でコストパフォーマンスの高い料理を提供する業態であります。当業態は新規出店5店舗を実施したことから店舗数が66店舗となり、総店舗数の33.8%を占めております。当業態へのニーズは特に地方都市において景気回復の波及効果が首都圏ほど見受けられないことから、より低価格の業態として見直されるとともに、団体客獲得強化に伴う広告宣伝等の施策を実行したことから、既存店売上高も好調に推移し、売上高は2,563百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

更に「や台や」業態はお好み焼き・鉄板焼き居酒屋であり、大きな鉄板で調理された料理をお値打ち価格で食することができる業態であります。当業態は店舗数が12店舗（フランチャイズ含む）となり、総店舗数の6.2%を占めております。当業態は店舗数こそ多くはありませんが、お値打ち感の高い商品の提供を徹底することで既存店強化に努めたことから、売上高は423百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店27店舗、退店2店舗、業態転換2店舗を実施し、平成27年12月31日現在の店舗数は195店舗（フランチャイズ含む）となりました。また、当第3四半期累計期間における売上高は8,126百万円（前年同期比22.6%増）、営業利益は839百万円（同48.5%増）、経常利益は973百万円（同41.5%増）となり、四半期純利益は573百万円（同35.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は6,075百万円、負債の部は2,667百万円、純資産の部は3,407百万円であり、自己資本比率は56.1%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ752百万円増加し、3,790百万円となりました。これは主に現金及び預金が742百万円、たな卸資産が41百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ281百万円増加し、2,284百万円となりました。これは主に建物が143百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ537百万円増加し、2,055百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が418百万円、未払金が219百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ17百万円減少し、612百万円となりました。これは主に長期借入金が49百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ514百万円増加し、3,407百万円となりました。これは主に利益剰余金が496百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は、概ね計画通りに堅調に推移いたしましたので、平成27年11月6日に公表いたしました通期業績予想につきまして、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,747,116	3,489,290
売掛金	61,948	72,765
完成工事未収入金	16,853	102
たな卸資産	70,162	112,033
その他	142,419	116,675
貸倒引当金	△57	△42
流動資産合計	3,038,442	3,790,825
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,134,796	1,278,776
その他	363,057	453,008
有形固定資産合計	1,497,854	1,731,785
無形固定資産	8,934	7,537
投資その他の資産	496,899	545,508
固定資産合計	2,003,687	2,284,831
資産合計	5,042,130	6,075,656
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	322,709	741,344
1年内返済予定の長期借入金	91,694	75,008
未払金	333,303	553,253
未払法人税等	284,903	244,307
その他	485,509	441,503
流動負債合計	1,518,120	2,055,416
固定負債		
長期借入金	168,368	119,190
役員退職慰労引当金	281,382	297,500
その他	180,319	195,557
固定負債合計	630,069	612,247
負債合計	2,148,189	2,667,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	320,150	328,592
資本剰余金	348,255	356,697
利益剰余金	2,224,799	2,721,698
自己株式	—	△152
株主資本合計	2,893,204	3,406,835
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	736	1,157
評価・換算差額等合計	736	1,157
純資産合計	2,893,941	3,407,992
負債純資産合計	5,042,130	6,075,656

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,627,555	8,126,644
売上原価	2,176,247	2,634,033
売上総利益	4,451,308	5,492,611
販売費及び一般管理費	3,885,836	4,652,990
営業利益	565,471	839,620
営業外収益		
協賛金収入	133,380	145,086
その他	8,110	5,006
営業外収益合計	141,490	150,092
営業外費用		
支払利息	850	474
株式交付費	6,845	—
株式公開費用	11,250	—
市場変更費用	—	16,000
その他	169	42
営業外費用合計	19,115	16,517
経常利益	687,847	973,195
特別利益		
固定資産売却益	4,074	—
受取補償金	—	22,880
その他	—	0
特別利益合計	4,074	22,880
特別損失		
固定資産除却損	4,881	568
店舗閉鎖損失	900	—
減損損失	1,807	8,743
保険解約損	840	—
特別損失合計	8,429	9,311
税引前四半期純利益	683,492	986,763
法人税、住民税及び事業税	248,126	407,362
法人税等調整額	13,376	6,228
法人税等合計	261,502	413,590
四半期純利益	421,989	573,172

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、飲食事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

平成27年12月3日開催の当社取締役会決議に基づき、次のように株式分割による新株式を発行しております。

平成28年1月1日をもって普通株式1株につき2株に分割します。

(1) 分割により増加する株式数

普通株式 5,118,300株

(2) 分割方法

平成27年12月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有株式数を、1株につき2株の割合をもって分割します。

当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における1株当たり情報の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	46円75銭	56円27銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益金額	44円81銭	55円54銭